

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス れもんkids		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 15日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書の支援内容を個別支援や集団支援に活用している。	実施した支援の経過を終えるよう経過記録の確認やスタッフ間での評価を行っている。	児童の強みを引き出し、やりたい事などの希望を取り入れていく。 保護者へも報告し評価を頂いていく。
2	お家と同じような作りでPC・学習室、クールダウン室など支援状況に応じた部屋の活用を行っている。	部屋があっても全体が見渡せるように構造を工夫している。 特性の構造化を意識しており何の部屋なのか視覚的にわかるように表示を行っている。	利用者の特性に合わせて構造化を意識していく。
3	5領域を意識した活動プログラム作成や地域利用を積極的に行っている。	季節行事を取り入れたり、就労支援施設が行っているカフェマナー体験や県内の工場見学など様々な体験・経験を行い楽しみながら児童の支援を行っている。	地域活動への参加。活動での評価を保護者様へフィードバックし相談援助を大切にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への説明等	開所して1年未満であるため保護者会や交流の機会を設けることができていない。	定期的に保護者会などの開催や事業所参観などを設けて児童の様子をみて頂く機会を設けていく。
2	専門的支援の定期化	言語聴覚士や作業療法士による支援のニーズが高いが不在となっている。	専門人材の配置と「専門的支援実施加算」を検討していく
3	手厚い支援体制	不登校支援では学校との調整が必要となり保護者のみでは負担が大きい。	学校での会議に同伴し学校や関係者に理解を求めていく取り組みを行う。